

# 一般質問

14名の  
議員が  
聞いた!



9月議会は14名の議員が質問に立ちました。

全質問項目は下記のとおりです。(マーカーの項目は、本文に内容を掲載しています)

\*本文は、質問した議員本人が要約して執筆したものです\*

**P.8 柳川 隆** 議員  
(市民クラブ)

No.1

1. 健康福祉部行政について
2. 選挙管理委員会の業務について
3. 産業振興行政について

**P.10 埴 豊** 議員  
(大河の会)

No.6

1. 財政問題について
2. 燕市の土地問題について
3. 教育問題について

**P.12 宮路敏裕** 議員  
(日本共産党)

No.10

1. 災害に強いまちづくりについて
2. 高齢者福祉について

**P.8 大原伊一** 議員  
(大河の会)

No.2

1. 産業政策と税収について
2. 10月の消費税増税による市内事業者の影響について
3. 市内医療機関の危機的状況について

**P.11 田澤信行** 議員  
(新風みらい)

No.7

1. 吉田駅構内のエレベーター設置について
2. 公共交通機関について
3. パブリックビューイングについて

**P.13 タナカ・キン** 議員  
(市民クラブ)

No.11

1. 選挙の投票率について
2. 市内の公共施設のエレベーター保守点検業務委託について
3. 国上寺本堂の壁画について

**P.9 土田 昇** 議員  
(日本共産党)

No.3

1. 子どもの貧困解決へ
2. 県内の児童虐待について
3. 農業問題について
4. 大通川、大通川放水路の雑草、雑木の処理について

**P.11 山崎雅男** 議員  
(新風みらい)

No.8

1. 県道燕分水線の安全対策未整備区間整備について
2. 待たれる吉田南地区役 8.6ha 土地区画整理事業について
3. 農業情勢について

**P.13 大岩 勉** 議員  
(新風みらい)

No.12

1. 参議院議員選挙での選挙管理委員会の怠慢さについて
2. 飛燕夏まつりについて
3. 児童の登下校安全対策について

**P.9 樋浦恵美** 議員  
(公明党)

No.4

1. 子育て支援について
2. 健康対策について

**P.12 長井由喜雄** 議員  
(日本共産党)

No.9

1. 障害者に関すること
2. 小中学校における教材と安全な部活動について
3. 市民の命を守る県立病院、県央基幹病院について
4. 保育制度改変に伴う対応について

**P.14 岡山秀義** 議員  
(チームつばめ)

No.13

1. 子ども子育て支援について
2. 燕市スポーツ振興について

**P.10 小林由明** 議員  
(チームつばめ)

No.5

1. 地域の安全対策について
2. 水道の塔について
3. 社会教育施設の利用について

**P.14 齋藤信行** 議員  
(大河の会)

No.14

1. 燕市夏まつりについて
2. 児童の放課後の居場所について
3. 燕市指定文化財について



# 史料館が掲げる燕ブランチの根底価値とは

**問** 燕ブランチの根底にある価値とは何か。

**答** 伝承と革新を積み重ねながら妥協を許さず、世界的に評価される製品や技術こそが燕ブランチである。それらを生み続けている燕の職人魂に加え、困難なときこそがチャンスと捉え、粘り強く挑戦する市民性や、経営者マインドこそが根底にある価値だと認識している。

**問** 燕の金属加工の最大の特徴は変遷にある。作家の五木寛之氏が自らの初期の単行本の後書きの中で述べている。その作家の処女作には、その作家の将来が全部埋まっている。

燕の金属加工の処女作は和クギであり、その後の変遷の芽を全部持つている。農家の作業場の一角を仕事場にして、どこでも誰でもつくられるのが和クギ、それは二百年経った今はプレス、溶接仕事で続いており、変遷はゼンを得ない。

根底にある価値とは、変遷を押し進めてきたエネルギー、その核にある常にもげない燕魂だと思いが、いかがか。



柳川 隆 (市民クラブ)



**答**

燕の職人魂というものは、まさに職人の皆さん、それから経営者の皆様のエネルギーの塊であり、変遷のエネルギーだということ、まさにおっしゃる通りだと思っております。



4月より、リニューアルした産業史料館

# 農業問題と大通川放水路の改善について

**問** 農業問題、特に農地の維持管理について、2013年に農政改革で各都道府県に農地中間管理機構が設立され、大規模農家や農業生産法人などが多くなつてきている。

農地を受けた以上は維持管理という大きな問題が出てくるが、現状の認識と対策について伺う。

**答** 担い手農業者が規模拡大を行う場合には、ほかの農業者や集落の住民など地域と調和を図りながら進めることが重要と考えている。

また、農地の受託が一部の農業者に限定され、管理が行き届かない状況にあることは認識している。今後の地域農業をどうするか話し合いを進めることが必要と考えている。

**問** 大通川と大通川放水路の雑草・雑木の処理について、8月21日の早朝の集中豪雨の際、市内の排水処理が悪かつたと思う。それは大通川放水路に原因があると考えているが、市の見解について伺う。

**答** 8月21日の降雨による大通川放水路の排水状況の低下に



雑草・雑木が生い茂っている大通川



土田 昇 (日本共産党)



については、雑草・雑木による流下の阻害のほか、降雨が大通川の下流域付近に集中し、本線の排水処理に負担がかかったことも一因ではないかと考えている。今後も三条地域振興局に要望していく。



# 補助金で購入機材の償却資産登録は適切か

**問** 市内各企業が購入機材について、償却資産台帳への記載は適切に行われているのか、チェック体制はあるのか伺う。

**答** ものづくり補助金は、毎年市内の製造業を中心に多くの採択があった。補助金の採択案件は、企業名・事業計画について公表されているが、個々の設備内容・金額は、公開がなく把握していない。税務課と連携して採択企業の償却資産台帳が提出されているか確認している。

**問** 消費税が10%に上がるが、インボイス制度導入は本市の個人事業主や小規模零細事業主にどのような影響があるのか。指導体制は整えているのか。

**答** 令和5年からインボイス制度が始まり、免税業者から課税業者への販売に際し支払われた消費税分の控除が認められなくなり、非課税業者との取引引きを避ける課税業者が増える恐れがある。商工団体等とも連携し周知に努めたい。

**問** 本市の医療体制が危機的状況を迎えているのではないかと



大原伊一 (大河の会)



か。基幹病院開院後の県央各市の1,000人当たりのベッド数について伺う。

**答** 基幹病院開院後のベッド数は、三条市10・9床、加茂市6・8床、燕市2・6床である。燕市だけのしわ寄せが来る可能性があるように訴えている。

県央医療圏の1,000人当たりのベッド数

市名	推計人口	基幹病院開院前		基幹病院開院後	
		許可病床	人口1,000人当たり許可病床数	許可病床	人口1,000人当たり許可病床数
三条市	96,588	804	8.3床/千人	1,053	10.9床/千人
加茂市	26,494	180	6.8床/千人	180	6.8床/千人
燕市	78,015	499	6.4床/千人	199	6.4床/千人

平成30年7月1日現在

# 放課後児童クラブ、フレイル予防について

**問** 放課後児童クラブの利用料とおやつ代について、保護者から「負担が大きい」との声を聞いている。

今後、燕市として利用料等を見直す考えはあるのか伺う。

**答** 放課後児童クラブの利用料については、運営経費の一部を保護者から負担していただくという考え方に基つき、児童1人当たり月額6,000円を基準額としている。

おやつ代についても受益者負担の考え方に基つき、実費相当分として児童1人当たり月額2,000円を保護者から負担していただいている。

今のところ児童クラブ利用料、おやつ代の変更は考えていないが、経済状況の変化や県内他市の状況を注視したい。

**問** 「フレイル」とは、加齢により心身が老い衰えた状態をいい、健常から要介護へ移行する中間の段階といわれている。フレイル予防についての考えを伺う。

**答** 加速する高齢社会の到来により、加齢に伴う身体的な機能の低下や複数の慢性疾患に加え、認



樋浦恵美 (公明党)



知機能や社会的なつながりの低下といった多様な課題や不安を抱えている高齢者も多い。

介護予防やフレイル予防、疾病の重症化予防などの効果的な実施が求められていると認識している。人生100年時代を見据え、今後具体的な取り組みを検討していきたい。



共働き家庭にとって放課後児童クラブは重要な位置づけとなっている

# 市民と行政が すべからず・どきからず



小林由明(チームつばめ)

**問** 朝日大橋に接合する歩道の防護柵について、柵の間隔が広く、大人の頭でもすり抜けることができないため、子どもが転落事故を懸念する声が届いている。誤って転落した場合、その高さゆえ、死亡するような重大事故となることは明らかである。

**答** 新潟県が防護柵の設置基準に基つき設置し、基準上では問題はないが、現地を見ると、子どもが容易にすり抜けることも考えられる構造になっており、より安全安心になるよう県に強く改善を申し入れた。また、市の措置についても考えていきたい。



柵の間隔は22cm。大人の頭でも容易にすり抜けてしまう

**答**

市民と行政相互に情報が共有されることは非常に大事なことだと思っている。現在、市のホームページから、個人が現場の写真を添えて、危険箇所などの通報ができるようになっている。



イツパンシツモンノ・セイゲンジカンハ・ヒトリアタリサンジュツブンデス

# いじめ問題・教師に よるいじめ根絶に



埴 豊(大河の会)

**問** いじめ問題の対応では、早期発見・早期対応が重要であると言われている。

しかし、現実においては、「気がつかなかった」「そこまでとは思っていなかった」など、対応の遅さがいとも報告されている。改善の状況について伺う。

**答** 早期発見のために、定期的なアンケート調査や教育相談などに努めてきた。

しかし、十分に機能したとは言えないことから、校長の危機管理意識を高める研修会などを実施した。今年度8月末までの間で、重大事案の報告はない状況である。

**問** 教師の不適切な対応について、この問題は一番発見が難しく、保護者が一番不安に感じる問題であるが、教育委員会の考えを伺う。

**答** 教師によるいじめや不適切対応はなくすると考えている。

現在の学校現場での研修は、校長が一方的に行うのではなく、ロールプレーであったり、実質的な判断に



# 吉田駅へのエレベーター 設置について



田澤信行(新風みらい)

**問** JR新潟支社からの提案内容について伺う。

**答** 吉田駅の場合、エレベーター3基の新設が必要であり、設置方法として「現在の乗りかえ跨線橋を改築する方法」と「エレベーター専用の乗りかえ跨線橋を新設する方法」の2通りの提案がある。そのほかにも多目的トイレの設置についても検討している。なお、詳細設計から完成までには4年程度必要になることである。

**問** 燕市としてエレベーター設置をどう考えているのか伺う。

**答** 吉田駅は市内の鉄道やバスの重要な結節点であり、利用客数という観点でいえば、燕三条駅の弥彦線に比べ、利用客の多い吉田駅のほうがバリアフリー化する価値や効果は高いと考えている。

JRには吉田駅へのエレベーター設置のほうが必要であり、むしろそちらを優先してもらいたいという気持ちはあることは、非公式だが伝えている。



某駅のエレベーター設置工事

**問**

燕市としてエレベーターの設置計画を推進するのか伺う。エレベーター設置のバリアフリー化が三位一体(国・自治体・JR)というのは十分承知しており、国の施策に準じて自治体も支援を行っていくことである。

燕市としてはJRがやりたいということに対して否定的ではなく、きちんとやる気があるということを今回改めて伝えていく。

# 県道燕分水線の 安全対策未整備区間



山崎雅男(新風みらい)

**問** 県道燕分水線、野本拡幅事業に向け、緊急に対処すべき交通安全対策を総合的に実施する観点から、整備を計画的に進め、拡幅等の改築事業を積極的に推進、安全水準維持・向上を図る必要があると考えるが。

**答** 信号機設置要望を平成18・24・27・29年の4回にわたり警察署へ提出し、その後も設置に向け協議を行っている。拡幅改築事業推進は、県より2車線整備詳細設計完了に向け、県と地元との協議が行われ動向を注視し、早期整備実施ができるよう市として最大限協力していきたい。

**問** 吉田南地区約8.6ヘクタール土地区画の整理事業の計画的市街化促進について。農地は農振法、農地法等により、農業以外の目的に利用することが制限。用途拡大予定地や都市計画農振除外関連等の今後の流れについて伺う。

**答** 農振除外の手続に関係団体から意見聴取を終え、県に事前相談の申し出や書類審査、申し出に対する回答を受け、農振法に基づ

**問** 産業のまちに合った燕市農業に対しての捉え方と対応策について伺う。

**答** 地場産業とともに発展してきた兼業農家。年齢や経営形態を極力限定せず、規模拡大や新たなチャレンジに対して幅広く支援策を展開している。



県道燕分水線

# 障がい者にやさしい燕市を「本気」で考えて



長井由喜雄 (日本共産党)

**問** 第19回全国障害者芸術文化祭にいがた大会が開催されるが、燕市における障害者への文化・スポーツ施設等における「減免」について積極的な促進策を求めたい。B&Gや産業史料館・分水良寛史料館・長善館史料館はパンフレットにもホームページにも減免の記載がないがどうか。また、入館の実態についてはいかがか。

**答** 指摘のとおりで、早急に記載するよう対応したい。30年度でB&Gで164人、分水良寛史料館が27人、長善館史料館4人、産業史料館で242人が入館された。

**問** 他県や他自治体では障害者割引で文化施設やスポーツ施設、温泉施設に入れるので「こちらではどうですか」と聞かれて、初めてカウントされるのではないのか。障害者に対する視点と計画理念、実践の課題が明らかになった。

**答** 「燕市障がい者基本計画」では経済的負担軽減の要望が62・8%だ。障害を持つ方から気軽に利用してもらい、生活と健康の充実に貢献

することは計画の目的と合致するものではないか。介助者も同伴で無料で利用できることを望む。分水良寛史料館、長善館史料館には障害者対応トイレもない。



障がい者にやさしい「ヘルプマーク」や「ヘルプカード」

**答** 基準の統と減免施設を増やすべきだと思う。導入施設の考えも含め、整理が必要と認識した。

# 市民参加の防災・まちづくりについて



宮路敏裕 (日本共産党)

**問** 住民の参加による防災力強化のために、防災リーダー養成講座や自主防災組織の出前講座、また、洪水・土砂災害ハザードマップを理解するための出前講座など実施したが、成果や課題はどうか。

**答** 防災リーダー養成講座は6年間で累計239名、女性防災リーダー養成講座は、昨年・今年で延べ152名、今後も増える見込みである。受講者数で見れば、市民の防災意識向上の点で一定の成果を上げている。一方、自主防災組織の組織率が他自治体より低いことが課題である。

**問** 自治会などの依頼でハザードマップ出前講座を実施し、昨年度39回、2027名、今年8月までに10回、382名の参加、また、全小学校で防災キャラバンを実施し、児童や教師にも関心をもってもらえた。

**答** 災害時は要支援者名簿の方だけでなく、負傷者があればその対応に迫られる。いつ誰が支援される側になるかわからないため、防災計画には反映させられない。隣近所での安否確認や避難方法については、実践的な防災活動の訓練を通じて、それらが機能するのを確認してもらいような支援も、市全体の災害対応力を強めていきたい。



昨年4月に全戸配布された「燕市洪水・土砂災害ハザードマップ」

**問** 高齢者を在宅介護している市民から、「おぶつて避難は不可能」との声が寄せられているが、きめ細かい計画が必要ではないか。

**答** 先の参議院選挙での投票用紙の誤配布は、職務の怠慢ではないのか。また、庁舎内で公示後、共産党議員による「しんぶん赤旗」と一緒に街頭演説・個人演説会の案内チラシが配布されていたが、選挙管理委員会は配布を許可したのか。

# エレベーターのメンテナンス料は見直すべき



タナカ・キン (市民クラブ)

**問** 公共施設のエレベーター保守業務委託について。契約は随意契約か。

**答** 全ての契約が随意契約である。

**問** 燕図書館は、平成18年度は66万4272円、平成22年度は21万4200円で翌平成23年度は9万9540円になり、平成25年度から平成30年度まで37万8000円となっている。このメンテナンス料の変動の理由について。

**答** 平成18年度から20年度までは修理費用が含まれるフルメンテナンス形式でエレベーター設置業者に委託してきた。委託料が高額であったことから、平成21年度からは修理費用を含まないPOG形式に変更し、メンテナンス業者から見積もり合わせをしたことにより委託料が下がったものである。

**問** これは少しおかしい。新しいうちは故障もないからPOGで、古くなってきたら全体を見てもらうフルメンテナンスにするというのが一般常識である。財政も厳しいので県も施設の維持管理費を見

**答** 直すと言っている。メンテナンス料を見直すことで、最低でも100万円から200万円近く削減できると思うが。

**問** 安全性の確保が前提であるが、精査検討する要素はいろいろある。どのようなやり方が一番いいのかを担当課長に調査検討するよう指示する。

	平成 18 年度	平成 24 年度	平成 30 年度
市営長所団地	541,800 円	541,800 円	567,720 円
燕図書館	664,272 円	93,870 円	378,000 円
中央公民館	226,800 円	93,870 円	272,160 円
吉田公民館	226,800 円	91,789 円	129,600 円
分水公民館	362,244 円	72,450 円	129,600 円

主なエレベーターのメンテナンス料の推移

# 庁舎内での選挙チラシ配布は認めているのか



大岩 勉 (新風みらい)

**問** 先の参議院選挙での投票用紙の誤配布は、職務の怠慢ではないのか。また、庁舎内で公示後、共産党議員による「しんぶん赤旗」と一緒に街頭演説・個人演説会の案内チラシが配布されていたが、選挙管理委員会は配布を許可したのか。

**答** 3件もの交付ミスが発生し深く反省している。庁舎内でのチラシ配布は、選挙管理委員会では許可していない。公職選挙法に抵触する恐れのあるものは黙認せず、警察と協議しながら適切に対応していく。

**問** 飛燕夏まつりは、燕・吉田・分水でなく一本化するべきではないか。

**答** 今後検討していく。

**問** 燕地区小学生の音楽パレードが2年続けて中止となった。一生懸命練習してきた児童と先生、見学を楽しみにしてきた父兄のことも考え、会場を市民体育館などに変更し開催したらどうか。

**答** 燕商工会議所・吉田商工会・分水商工会が、各地域の歴史文化の象徴であるまつりをなくすべ

配布された案内チラシ

日時	会場	内容
7月4日 (木・公示日)	街頭演説	三倉市・かつばら町 (イオン三倉店内) 11:30~
7月6日 (土)	街頭演説・燕市での第一声	燕市・イオン燕見店 17:50~
7月12日 (金)	街頭演説	燕市・原宿商店 11:00~
7月12日 (金)	個人演説会 (燕・新風・三倉合同開催)	三倉市・総合福祉センター 18:30~

# 児童虐待 子どもたちのいのちを守るために



**問** 厚生労働省より公表された平成30年度の児童虐待相談件数は15万9850件で、前年度より2万6072件(19.5%)増え過去最多を更新した。全国的に増加の中、燕市における児童虐待相談件数、また、一時保護件数について伺う。

**答** 平成30年度71件の通告があった。平成30年度、一時保護件数は15件、児童の人数は25人であった。

**問** 虐待通告受理後の対応について伺う。

**答** 緊急度の高いケースは児童相談所と連携する等の対応を行うほか、各関係機関との連携による支援が必要なケースは、個別ケース検討会議を開催し、支援方針や支援内容、役割分担等について協議を行い、共通認識のもと対応・支援にあたっていく。

**問** 71件の通告、一時保護15件25人もの命が危険にさらされている現状を受け、子どもたちの未来のために、一人ひとりの尊い命のために、燕市はこれから児童虐待



岡山秀義 (チームつばめ)

防止にどのように向き合っていくのか伺う。

**答** すべての子どもは、適切な養育を受け、健やかな成長、発達や自立が保障されなければならず、児童虐待の防止は社会全体で取り組むべき重要な課題である。体罰の禁止とともに児童虐待防止について市民への啓発を行い、「虐待から守る」ということを市民の共通認識として各種支援を推進していく。



虐待がなくなりますように



イッショニ・ツバメシノミライヨ・カンガエマセンカ?

# 児童の放課後の居場所について



**問** 分水小学校区における設置場所の変更について。

**答** 市教育委員会としては、分水児童クラブを利用している分水北小学校低学年の保護者が下校時の安全を心配し、分水児童館にある児童クラブの学校への移設を望む声があることは承知をしている。しかしながら、児童クラブの設置場所を変更するには分水児童館のあり方にも関係することから、慎重に調査研究をしたいと考えている。

**問** 今後の放課後児童の居場所のあり方について。

**答** 市教育委員会では、児童が通う小学校によって利用できるサービスが異なっている現状は解消していきたい。現在料金や提供するサービス等の統一に向け、公共施設の有効利用も含め調査研究を進めている。その結果を踏まえ、「なかまの会」については可能な施設から順次、児童クラブへの移行を進めていきたい。

**問** 今後の「なかまの会」、児童クラブの放課後のあり方等について。



齋藤信行 (大河の会)

**答** 特に分水北小学校低学年の保護者の皆さんの要望とされている。「なかまの会」のおやつ代等トータルで見ると、今の「なかまの会」、児童クラブのあり方を調査・研究し、見直していこうと考えている。しっかりと検討していきたい。



分水児童館「童楽夢」

